

TECHNICAL DATA

種 類	EVA系 吸水調整材 セメント混和用ポリマーディスパージョン
商 品 名	スタックプライマー#3

改訂版数：	第4版
-------	-----

DATE : 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

- 種類：吸水調整材、セメント混和用ポリマーディスパージョン
- 商品名：スタッコプライマー#3
- 用途：①建築物壁面・床面等の吸水調整
②セメントモルタルへの混和（物性向上）
- 吸水調整材の場合の適用下地
：コンクリート・セメントモルタル・コンクリートブロック等
- 工程

①吸水調整材としての使用

工程	材料・調合	施工用具	間隔時間 (20℃)	塗回数	用途	所要量
塗布工法 (吸水調整)	スタッコ プライマー#3 主材：18kg 清水：72L	ウールローラー 水性刷毛 エアレス等	2以上	1	RC 壁	450～900m ² /18kg缶 0.10～0.2kg/m ² （5倍液）
					RC 床	450～600m ² /18kg缶 0.15～0.20kg/m ² （5倍液）
				2	A L C	230～300m ² /18kg缶 0.30～0.40kg/m ² （5倍液）

● 施工上の要点

- (1) 下地の乾燥は、十分行って下さい。
- (2) 豆板、各階打継部、コールドジョイント、大きな亀裂などは、予めポリマーセメントモルタルで補修して下さい。（推奨：J Sプレミックスシリーズ）
- (3) 大きな目違いは、グラインダー掛け又はポリマーセメントモルタルモルタルで補修して下さい。（推奨：J Sプレミックスシリーズ）
- (4) コンクリート面の突起物及びレイトランスは、グラインダーがけ又は皮スキなどで除去します。
- (5) 汚れ及び付着物は、ワイヤーブラシ・研磨紙・布等で除去し、必要に応じて水洗いして下さい。
- (6) 塗面に残留する金属（番線・くぎ等）は除去し、エポキシ系防錆塗料で防錆処理して下さい。
- (7) コンクリート、A L C面に用いる場合は、予めスタッコプライマー#3の5倍希釈液（原液：清水＝1：4）を作製し使用します。
- (8) ローラー塗り・刷毛塗り又はスプレーにて塗布して下さい。
- (9) スタッコプライマー#3塗布後、長期間の放置は塵埃等の付着によってセメントの接着を阻害する恐れがありますので、なるべく早い時期にモルタル塗りを行って下さい。

②セメントモルタルへの混和

工 程	材 料 ・ 調 合	施工用具 条 件	所 要 量
モルタル混和	<参考配合> 普通ポルトランドセメント：25kg 左官用砂：20～75kg メチルセルローズ：適宜 スタップライマー#3：2.5kg～5.5kg 清水：適宜	コテ	適宜

● 施工上の要点

- (1) 下地の確認・清掃を行ってください。
- (2) 材料の調合は上記範囲内で行ってください
- (3) 可使時間は、20℃の条件で1時間以内に使用してください。
- (4) スタップライマー#3混入モルタルを補修箇所に充填し、表面を平滑に仕上げてください。
- (4) 1回の塗り厚は、7mm以下にしてください。それ以上厚塗りする場合は、硬化状態を確認しながら数回に分けてくし目を入れ、塗り重ねてください。
- (5) 塗り付け後は、24時間以上養生をしてください。

● 注意事項

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- (2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- (3) 材料は、直射日光下及び0℃以下での保管は避けて下さい。

●その他の注意事項

- (1) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
- (2) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスクングを行ってください。
- (3) シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。

※その他、不明な点は弊社までお問い合わせ下さい。

組 成 表

種 類 吸水調整材、セメント混和用ポリマーディスパージョン

商 品 名 スタッコプライマー#3

荷 姿 スタッコプライマー#3 NET 18kg/缶入

組 成

内 容	重 量 (%)
エチレン・酢酸ビニル樹脂エマルジョン (EVA)	45~46
清 水	54~55
計	100

—以下余白—

性能試験成績書

①日本建築仕上学会・M-101 セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準

種類	吸水調整材	
商品名	スタッコプライマー#3	
供試材料	スタッコプライマー#3	
試験項目	規定値	結果
外観	粗粒子、異物、凝固物等がないこと	異常なし
全固形分	表示値±1.0%以内であること	45.3% (+0.7%)
吸水試験	30分間で1g以下であること	0.96g
接着強度	標準状態	異常なし 2.19N/mm ² 界面破断：0%
	温冷繰り返し抵抗性	異常なし 1.61N/mm ² 界面破断：20%
	凍結融解抵抗性	異常なし 1.83N/mm ² 界面破断：35%
	熱アルカリ溶液抵抗性	異常なし 1.51N/mm ² 界面破断：40%
—以下余白—		

② J I S A 6 2 0 3 セメント混和用ポリマーディスパージョンの品質試験

種 類	セメント混和用ポリマーディスパージョン	
商 品 名	スタッコプライマー# 3	
供 試 材 料	スタッコプライマー# 3	
試 験 項 目	規 定 値	結 果
曲 げ 強 さ	8. 0 N/mm ² 以上	1 2. 9 N/mm ²
圧 縮 強 さ	2 4. 0 N/mm ² 以上	3 4. 6 N/mm ²
付 着 強 さ	1. 0 N/mm ² 以上	2. 3 N/mm ²
吸 水 量	1 0. 0 % 以下	4. 0 %
透 水 量	1 5 g 以下	3. 0 g
長 さ 変 化	0 ~ 0. 1 5 0 %	0. 0 5 %
〈 配 合 〉 普通ポルトランドセメント : 4 5 0 標準砂 : 1 3 5 0 スタッコプライマー# 3 : 1 0 0 清水 : 1 0 5 -以下余白-		

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSクリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ALC やコンクリートなどで巣穴、段差がある場合は、下地調整塗材（JIS A 6916 相当品）等で処理してください。
- 水洗い後は晴天下で必ず 1 日以上乾燥させてください。下地の乾燥が不十分の場合、塗膜の白濁等、水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなります。
- 内部での施工の場合、汚染物の除去は水を含ませた清潔な布で拭き取り後、乾いた布で乾拭きして乾燥させてください。汚れがひどい場合は水で中性洗剤を薄めて拭き取ってください。
- 下地の劣化が著しい場合、施工は避けてください。
- 経年したサイディングボード面への塗装は、表層内劣化部分から剥離する恐れがあります。試験施工を行って付着性の確認を行ってください。
- 無機塗料、特殊下地への塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 布クロス、紙クロス、汚染防止加工されたクロスには塗装しないでください。剥離を起こす場合があります。
- ドアのゴムパッキンなど可塑剤を含むものやシーリング材への塗装は塗膜の汚染、剥離などが起こる場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が 5°C 以下、湿度 85% 以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施 工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
- 材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行ない、決定してください。希釈の過多、不足はダレや隠ぺい不足、仕上がりがムラの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。
シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜の汚染、剥離、収縮割れなど不具合を起こすことがあります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。
磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。
- 改修工事の場合、下地を侵し既存塗膜に膨れ・縮み（リフティング）などの異常が発生することがあります。事前に試し塗りをを行い確認してください。
特に、2液反応硬化形弱溶剤系塗料での改修において、既存下地が塗料用シンナーで容易に溶解する場合、縮みや膨れが発生する恐れがあるため、塗装は避けてください

《材 料》

- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。

《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。
皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態に密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。
絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。